



熊本市 感染症発生動向調査 速報



●アデノウイルスによる感染性胃腸炎について

アデノウイルスは呼吸器疾患、流行性角結膜炎、咽頭結膜熱(プール熱)、出血性膀胱炎などの病原体として知られていますが、小児における感染性胃腸炎の主要な病原体でもあります。

感染性胃腸炎とは、主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。原因となるウイルスには、「ノロウイルス」、「ロタウイルス」、「サポウイルス」、「アデノウイルス」などがあり、主な症状は腹痛・下痢、嘔吐、発熱です。

◆病気の特徴は？

6歳以下の小児の割合が多いこと、食品を介する事例が少ないこと、他のウイルス性胃腸炎と比較して下痢の期間が長いことが特徴です。

・主な症状…発熱、嘔吐、下痢などの消化器症状。

・潜伏期間…約3~10日

・感染経路…感染者の便の中にあるウイルスが口から入って感染するほか、飛び散ったウイルスを吸い込むことでも感染する可能性があります。

また、感染していても症状がない場合があり、気づかないうちに他人にうつしてしまうこともあります。



◆予防法は？

長期間にわたって下痢が続き、ウイルスの排出期間が長いため、患者に接触した後の手洗いやマスク着用が重要となります。アデノウイルスはエンベロープを持たないため、アルコール性消毒剤や界面活性剤への抵抗が強いので、次亜塩素ナトリウムによる消毒が有効です。2020年以降、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の流行に伴って、感染性胃腸炎を含むアデノウイルス感染症の患者数が減少しています。この結果は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策として実施されている手洗いなどの手指衛生、環境消毒および飛沫感染防止の徹底がアデノウイルス感染対策に有効であることを強く示唆しています。

期 間		2021年 16週		2021年 17週		2021年 18週	
		4/19~4/25		4/26~5/2		5/3~5/9(最新)	
疾患名	17・18週 疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		0	0.00	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症		77	4.81	56	3.50	23	1.44
咽頭結膜熱(プール熱)		4	0.25	5	0.31	4	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		8	0.50	14	0.88	5	0.31
感染性胃腸炎		22	1.38	22	1.38	19	1.19
水痘(みずぼうそう)		0	0.00	1	0.06	3	0.19
手足口病		8	0.50	6	0.38	6	0.38
伝染性紅斑(りんご病)		1	0.06	2	0.13	0	0.00
突発性発しん		13	0.81	20	1.25	10	0.63
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		0	0.00	1	0.06	1	0.06
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		3	0.60	6	1.20	1	0.20
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00	0	0.00